



速報

はぼろ

発行責任：組織対策部

発行日：2010.3.12

発行号：10第6号

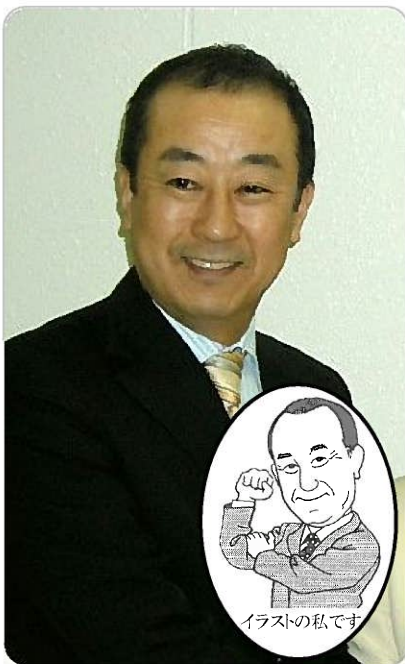
第22回参議院議員選挙(7月予定)に向けて

比例代表 候補予定者

選挙区 候補予定者

えさき たかしさん 藤川 まさしさんを推薦決定!

組合執行部は、次期参議院議員選挙に向けて、比例代表及び選挙区で次の候補予定者の推薦決定をしました。今後、組合といたしましても、積極的に応援していきますので、組合員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



えさき たかし
プロフィール

《略歴》

- '56 福岡県生まれ
- '75 福岡県立伝習館高等学校卒業
- '79 法政大学社会学部卒業後、福岡県・旧三橋町役場就職
- '96 自治労福岡県本部専従執行委員長
- '04 自治労福岡県本部書記長
- '07 自治労中央本部労働局長



藤川 まさし
プロフィール

《略歴》

- '56 苫小牧市生まれ
- '75 北海道立札幌西高等学校卒業
- '80 慶応義塾大学法学部卒業後、札幌市役所就職
- '81 札幌市職青年部長、組織部長、副委員長、書記長等を歴任
- '03 札幌市議会議員当選(現在2期目)
札幌市議会厚生委員会委員長等を歴任

《政策提言(要約)》

公共サービスの再生、地方分権、差別のない平和な社会の実現、透明で民主的な公務員制度改革と労働基本権の確立、雇用の安定といった5つの基本政策のもと公共サービスの大切さを見直すために現場の目線と感覚を国政に反映させたい。

《政策提言(要約)》

これまでの札幌市議会議員での経験を生かし、道民(国民)と国政をつなぐ役割を果たし、「地方主権」、北海道の第一次産業の活性化、医療・介護、子育て支援などの取り組みを行い、北海道を元気にしていきたい。

組合員の皆さんへ

紹介者カードの取り組みを!

～ 1人5名の取り組みにご協力をお願いします ～

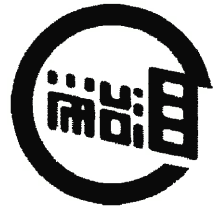
この度、来る参議院選挙に向けて紹介者カードを取り組むこととしました。つきましては、添付しました用紙に必要事項を記入のうえ、各分会書記の方に提出願います。

なお、自分以外の紹介者を記入する際は、必ず紹介者本人に確認のうえ記入するよう注意願います。

各分会書記さんへのお願い! →各分会の書記は **4月1日**までに紹介者カードを集約し組合に提出して下さい。

とまお

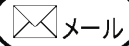
難群



第22回参議院議員選挙(7月予定)に向けて

比例代表 候補予定者

選挙区 候補予定者



えさき たかしさん 藤川 まさしさんへのインタビュー

～ 2月23日にメールインタビュー(5つの質問)を実施、次の返事がありました。～

質問～①経歴を教えてください。②どのような政治を目指しているのですが。③北海道や留萌地方に関する思い出などあれば教えてください。④私たち公務員はどのようになっていくのでしょうか。また、どのようにしていったらよいのでしょうか。⑤仲間の皆に一言お願いします。

①1956年(S31)生まれで、出身は旧三橋町(現柳川市)。福岡県伝習館高校、法政大学を卒業して、'79年に地元の三橋町役場に就職。三橋町職労書記長や福岡県本部書記長等を務め、'07年から本部執行委員です。

②地域で働く人が、安心して生活できる社会をつくれるような政治を目指しています! そのためには、公共サービスの再生や地方分権、平和が必要だと考えています。



えさき たかし

③留萌地方の職場には昨年10月15日に訪問させていただきました。利尻富士がとてもきれいで、すてきな地域だと思いました。

④政権が変わり、地方の役割もこれからまた大きく変わっていくと思いますが、その中で私たちは地域と住民のために何が出来るか、また、何を变えていかなければと考えていくことが必要なのではないでしょうか。

⑤私はいま、全国の職場を回っていて、厳しい中でも精一杯働いているたくさんの方に出会っています。公務員に対する世間の風当たりが強い中でも、うつむかずに、自分たちの仕事と役割に自身をもって、一緒に声をあげていきましょう!

①大学卒業後の1980年7月に札幌市役所に採用され、白石区総合窓口課に配属となり、91年11月には経済局経済企画課へ異動、96年10月には市民局市民生活部勤労市民課へ異動となりました。

組合運動では、札幌市職青年部長、組織部長、副委員長、書記長及び札幌市労連書記長を経験しました。

②政権が交代し、民主党は「地域主権」をスローガンに地域のことは地域で決められる仕組づくりを行うこととしています。私も市議会議員として、市民自治を推し進めるべき地域の方々と一緒に活動しながら市民参加のまちづくりを行ってきました。これらの経験を活かし、より住民が主役のまちづくりが進むよう国政における仕組づくりに取り組んでいきたいと思っています。また、農業・漁業・林業の活性化など北海道を元気にする取り組みや、雇用の場の確保、子育て支援、安心の医療・介護制度の充実などの課題に取り組んでいきます。

藤川 まさし



③私の妻は遠別町出身であり、この20数年、毎年のようにオロロンラインを車で走って妻の実家に通っています。子どもが小さい頃、天売・焼尻も旅行に行きましたし、留萌の黄金岬で小さいカニを獲って遊んだりもしました。また、羽幌のサンセットビーチで遊んだり初山別の温泉にも入ったり、とても良いところだと思っています。

④私も札幌市職員時代の時代は、自治体の主人である住民の、福祉向上と地域公共サービスの充実に努めてまいりました。今後は「地域主権」の時代ありますから、住民とともに地方公務員の力量がより一層期待されます。まちづくりに関しても、これまで以上に住民とのコラボレーションによる地域の政策展開が必要と思われます。

⑤皆さんと同じく自治体職員を経験し、自治労組織内議員として、また峰崎参議院議員の後継として精一杯頑張る決意です。皆さんのご支援を心からお願いいたします。

最後に (インタビューをしてみた感想)

突然の質問だったにも関わらず、とても丁寧に返事してもらいました。今回は日程等が合わずメールでのインタビューとなりましたが、二人とも私たちと同じ地方公務員であった経験から、弱い立場の人や地域の声を政治に反映させたいという熱い思いがあふれるインタビューでした。